

かごしま外国人材受入活躍推進戦略 概要

本県における外国人労働者を巡る現状

1 雇用環境

- ・ 今後も生産年齢人口の減少が続き、2025年には、2018年より約10万人減少し約78.5万人となる見込み。
- ・ 有効求人倍率は高い水準で推移。2019年12月は1.33倍。44か月連続で1倍台。
- ・ 特に、製造業、農業、建設業、介護、宿泊業、飲食業で人手不足が深刻。

2 外国人労働者の受入状況

- ・ 人手不足を補う形で外国人労働者が増加。2019年は8,387人で、5年間で2.6倍。
- ・ 特にベトナム人労働者の増加が顕著で、2019年は4,240人と5年間で約16.6倍に急増。
- ・ 外国人労働者は県内各地に分散し、国籍も多様化。
- ・ 新たな外国人材の受入制度「特定技能」が開始。国は、今後5年間で最大34.5万人の受入れを見込む。

外国人材の活用にあたっての課題

1 関係団体・機関等が把握している課題

- ・ 外国人材の獲得競争が激化しており、今後安定的に確保できるか不透明。
- ・ 生活費の安さや通勤時間の短さ、自然環境など鹿児島県の魅力のPRが必要。
- ・ 地域で日本語を学べる機会が少ない。
- ・ 外国人材に選ばれるよう多文化共生の取組の推進が必要。 など

2 監理団体が把握している課題

- ・ 一定レベルの日本語能力の習熟
- ・ 失踪や事故等への対応
- ・ 受入企業の体制整備 など

3 事業者の課題

- ・ 一定レベルの日本語能力の習熟
- ・ 安定的な受入人数の確保
- ・ 文化、生活習慣の相互理解 など

今後の外国人材の受入見込

製造業、農業、建設業、介護など6業種における技能実習生及び特定技能外国人の5年後（2024年）の受入見込数を8,400人と推計。

（単位：人）

製造業	農業	建設業	介護	宿泊業	飲食業
3,400	2,000	1,000	1,000	400	600

新たな送り出し国との関係構築

- ① ミャンマー：人口規模や経済状況等から、今後の送り出し人数の拡大等について最も潜在可能性が高い。
- ② フィリピン：英語でのコミュニケーションが可能であること、特定技能の介護分野で先行して技能試験が実施されるなど、特に介護分野において有望。

今後も増加が見込まれる外国人材を、地域経済を支える貴重な人材として、また、地域社会の重要な構成員として、温かく迎え入れ、定着を促進。

取組の方向性

① 外国人材の安定的な受入体制の整備

② 共生社会の実現に向けた相互理解の促進

③ 外国人材が安心して働き、暮らせる環境整備

今後の施策展開

外国人材に対する支援

- 多言語による情報提供、相談体制の充実（出張相談など）
- 日本語・日本理解講座の実施等によるコミュニケーション能力の向上、文化・生活習慣の理解促進

受入事業者等に対する支援・連携強化

- かがしま外国人材受入活躍推進会議による連携強化
- 事業者向け相談窓口の設置やセミナーの開催など支援体制の充実
- 外国人材の安定的な受入れ・定着に向けた受入事業者等の取組の支援
- 介護福祉士資格取得を目指す留学生を受け入れる介護施設の支援 など

送り出し国との関係強化、本県の魅力のPR

- ハイズオン省との連携協定等に基づく安定的な人材受入れや、農業分野等の専門家派遣、テト・フェスタの開催などベトナムとの関係強化
- ミャンマー等の送り出し機関と監理団体等とのビジネスマッチングなどによる関係構築
- 自然や文化、生活費が安いなど本県の暮らしやすさのPR など

国・市町村、関係機関との連携

- 多文化共生社会推進会議による連携強化
- 労働関係法令の遵守など事業者の理解促進
- 外国人材の活躍や、文化・習慣等の情報発信による相互理解の促進
- 外国人材が入居しやすい住宅の供給促進
- 外国人の子どもの学習環境の整備
- 不法就労助長事犯に關与する悪質ブローカー等の排除 など

県内の人手不足を緩和し、県内産業の活性化を図る。